

令和7年度 男女共同参画に関するアンケート調査結果

1 調査概要

(1) 調査対象

満18歳以上満75歳未満の男女（前回、前々回調査と同じ）

(2) 調査対象者数

1,020人

【内訳】	男	女	計
18歳～29歳	85	85	170
30歳～39歳	85	85	170
40歳～49歳	85	85	170
50歳～59歳	85	85	170
60歳～69歳	85	85	170
70歳～75歳	85	85	170
	<hr/>		
	1,020		

(3) 対象者抽出方法

層化無作為抽出法

※6つの年齢層に分け、男女それぞれ同数を無作為に抽出

(4) 調査期間

令和7年11月17日～令和7年12月12日

(5) 調査方法

郵送によりアンケート調査票、返信用封筒を配付し、郵送または役場窓口への提出により回収

(6) 調査項目

- ①ご自身のことについて
- ②男女共同参画の全般について
- ③家庭について
- ④DV（ドメスティックバイオレンス）について
- ⑤仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について
- ⑥あらゆる分野における女性の活躍の推進について
- ⑦健康づくりについて
- ⑧防災について

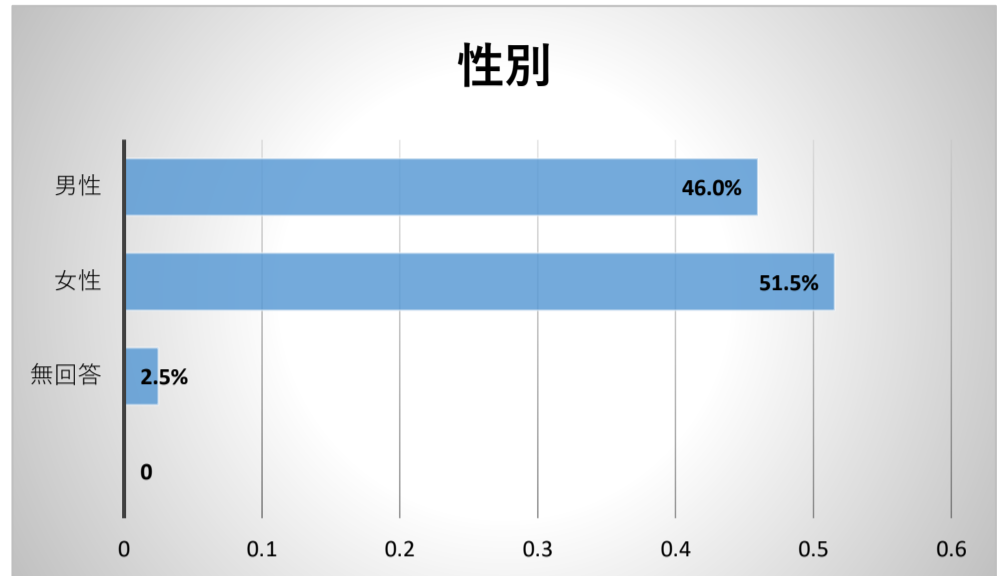
(7) 回答者数（率）

	数値
女性の回答数	250人
男性の回答数	223人
無回答	12人
合計	485人
回答率	47.5%

ご自身のことについて

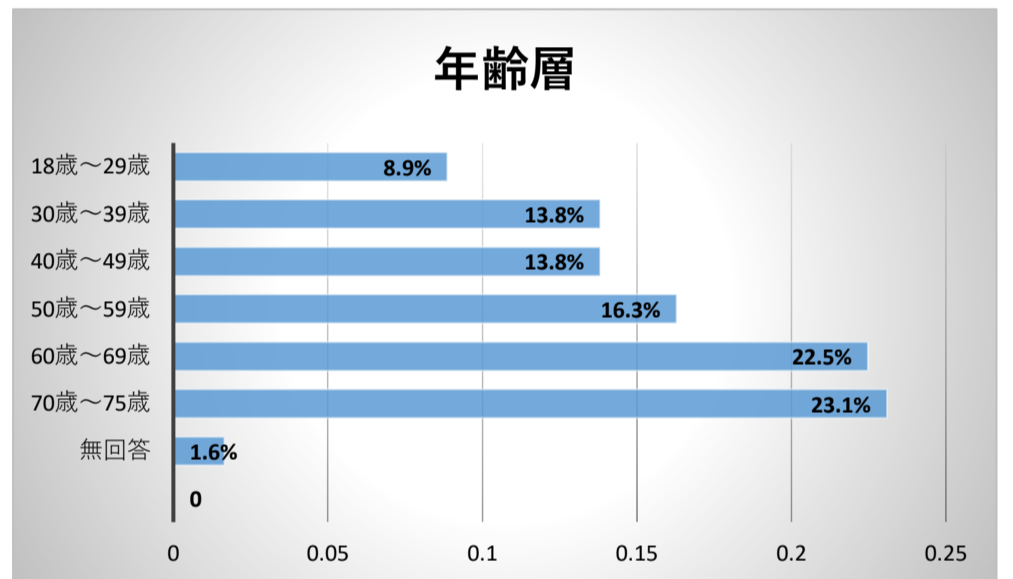
【問1】 性別

	割合	人数
無回答	2.5%	12人
女性	51.5%	250人
男性	46.0%	223人
合計	100.0%	485人



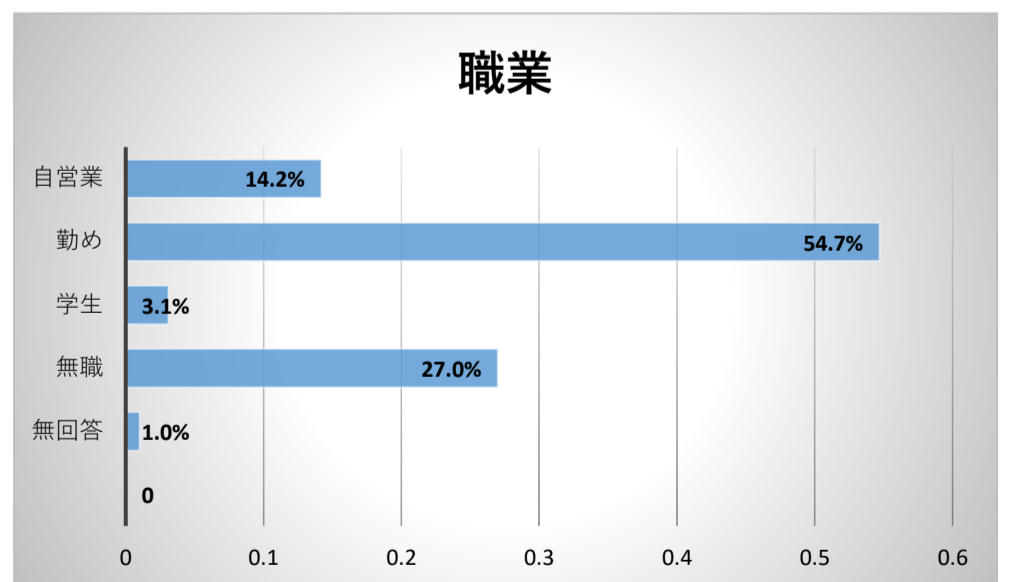
【問2】 年齢層

	割合	人数
無回答	1.6%	8人
70歳～75歳	23.1%	112人
60歳～69歳	22.5%	109人
50歳～59歳	16.3%	79人
40歳～49歳	13.8%	67人
30歳～39歳	13.8%	67人
18歳～29歳	8.9%	43人
合計	100.0%	485人



【問3】 職業

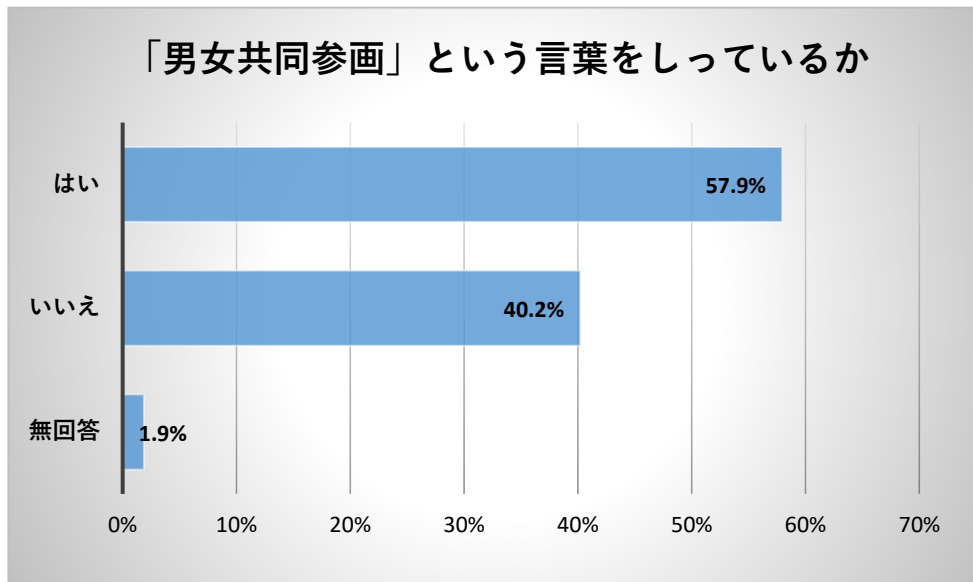
	割合	人数
無回答	1.0%	5人
無職	27.0%	131人
学生	3.1%	15人
勤め	54.7%	265人
自営業	14.2%	69人
合計	100.0%	485人



男女共同参画全般について

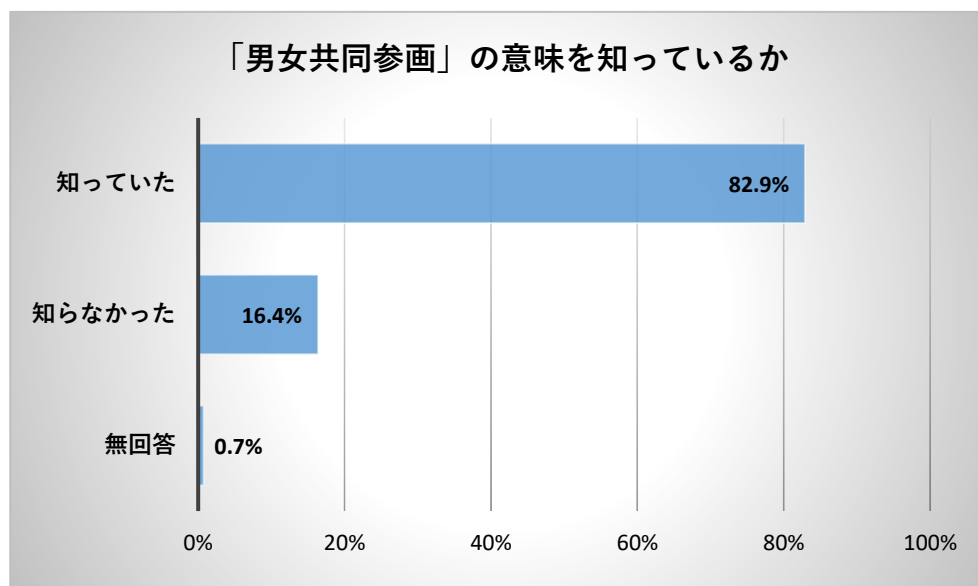
【問4】 「男女共同参画」という言葉を知っているか

	割合	人数
無回答	1.9%	9人
いいえ	40.2%	195人
はい	57.9%	281人
	100.0%	485人



【問5】 「男女共同参画」の意味を知っていましたか

	割合	人数
無回答	0.7%	2人
知らなかった	16.4%	46人
知っていた	82.9%	233人
	100.0%	281人



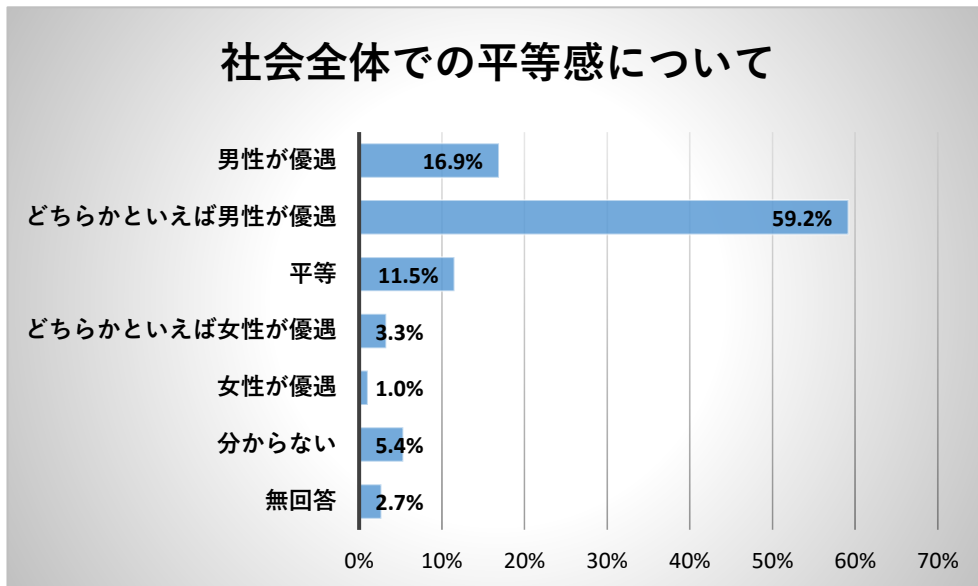
【問6】 様々な場面での男女の平等感について

		無回答	分からない	女性が優遇	どちらかといえば女性が優遇	平等	どちらかといえば男性が優遇	男性が優遇	合計
ア	社会全体で	13	26	5	16	56	287	82	485
イ	家庭の中で	15	29	16	58	152	167	47	484
ウ	職場の中で	25	57	7	20	118	206	50	483
エ	学校教育の場で	27	137	3	17	210	76	13	483
オ	政治の場で	23	51	1	2	53	225	129	484
カ	地域社会の場で	20	82	7	31	125	164	56	485
	合計	123	382	39	144	714	1125	377	2904

2904

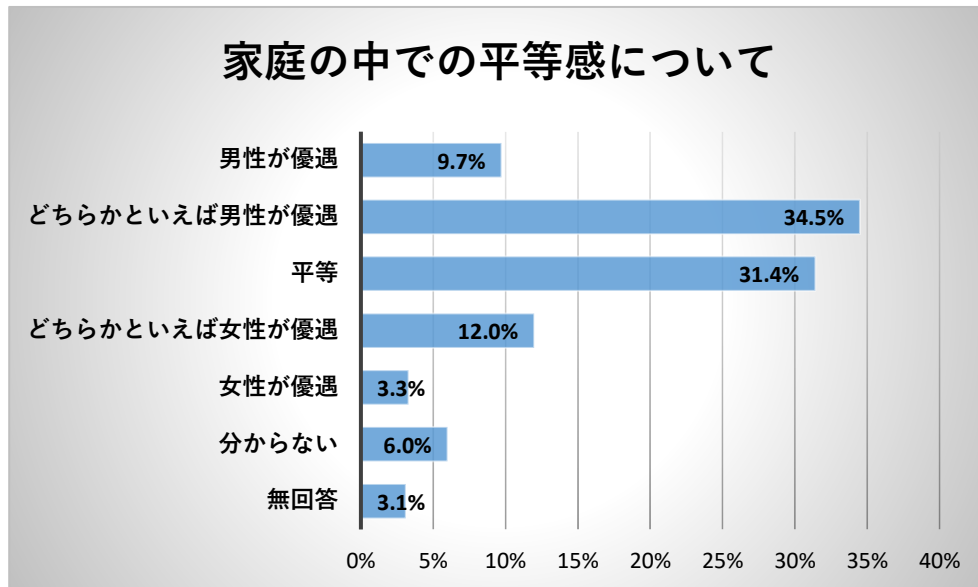
ア 社会全体での男女の平等感について

		無回答	分からない	女性が優遇	どちらかといえば女性が優遇	平等	どちらかといえば男性が優遇	男性が優遇	合計
ア	社会全体で	2.7%	5.4%	1.0%	3.3%	11.5%	59.2%	16.9%	100.0%



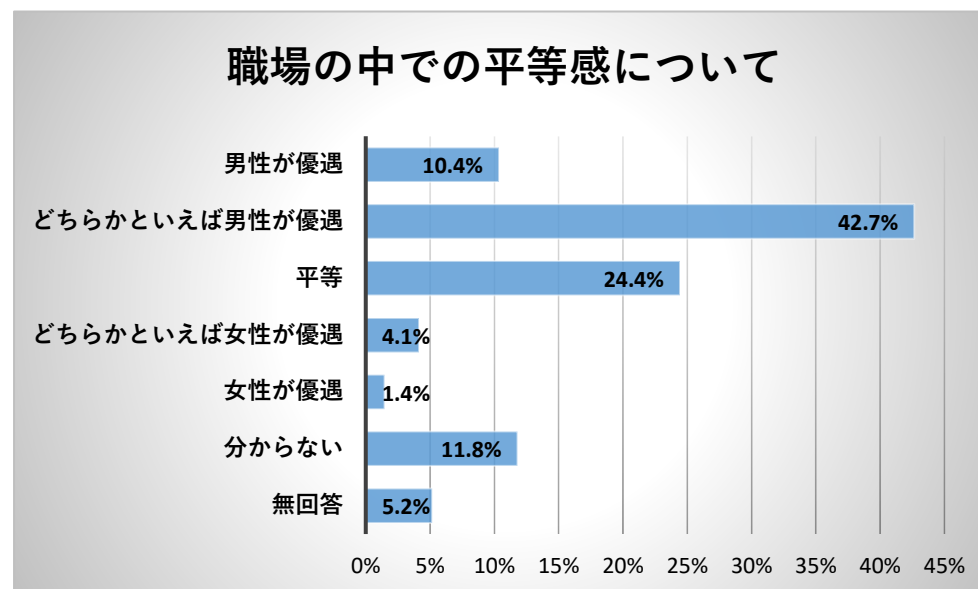
① 家庭の中での男女の平等感について

		無回答	分からない	女性が優遇	どちらかといえば女性が優遇	平等	どちらかといえば男性が優遇	男性が優遇	合計
①	家庭の中で	3.1%	6.0%	3.3%	12.0%	31.4%	34.5%	9.7%	100.0%



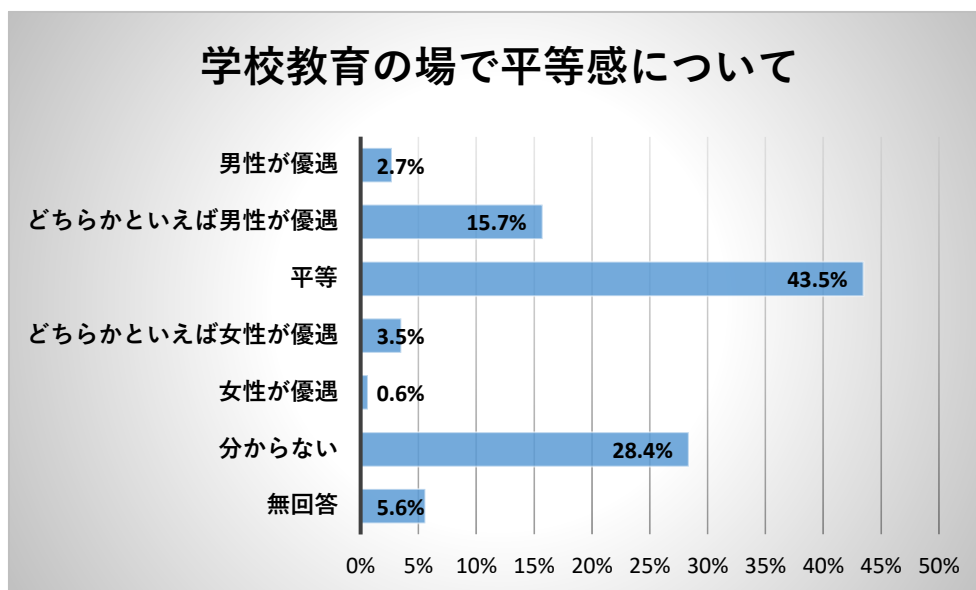
② 職場の中での男女の平等感について

		無回答	分からない	女性が優遇	どちらかといえば女性が優遇	平等	どちらかといえば男性が優遇	男性が優遇	合計
②	職場の中で	5.2%	11.8%	1.4%	4.1%	24.4%	42.7%	10.4%	100.0%



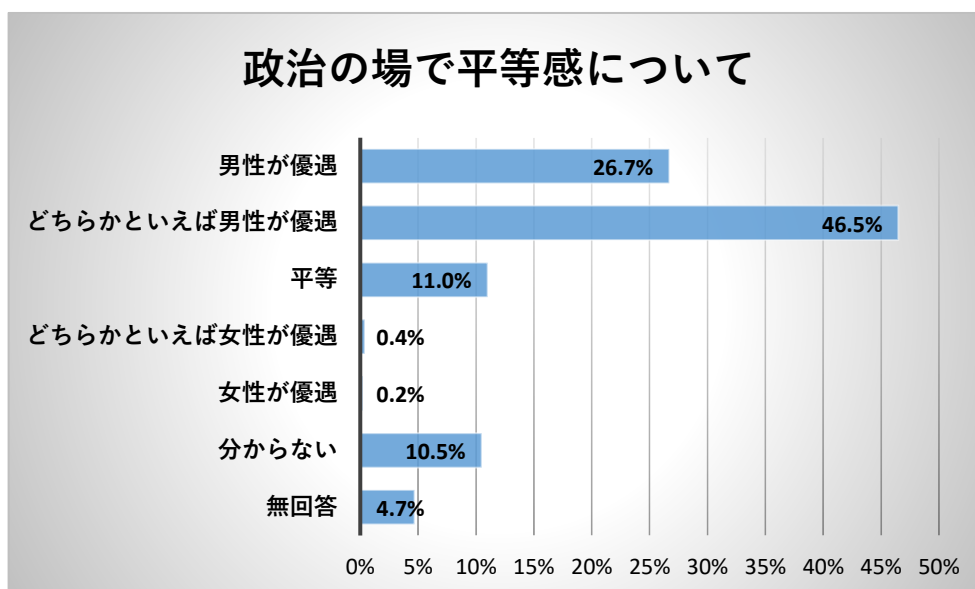
⑤ 学校教育の場での男女の平等感について

		無回答	分からない	女性が優遇	どちらかといえば女性が優遇	平等	どちらかといえば男性が優遇	男性が優遇	合計
⑤	学校教育の場で	5.6%	28.4%	0.6%	3.5%	43.5%	15.7%	2.7%	100.0%



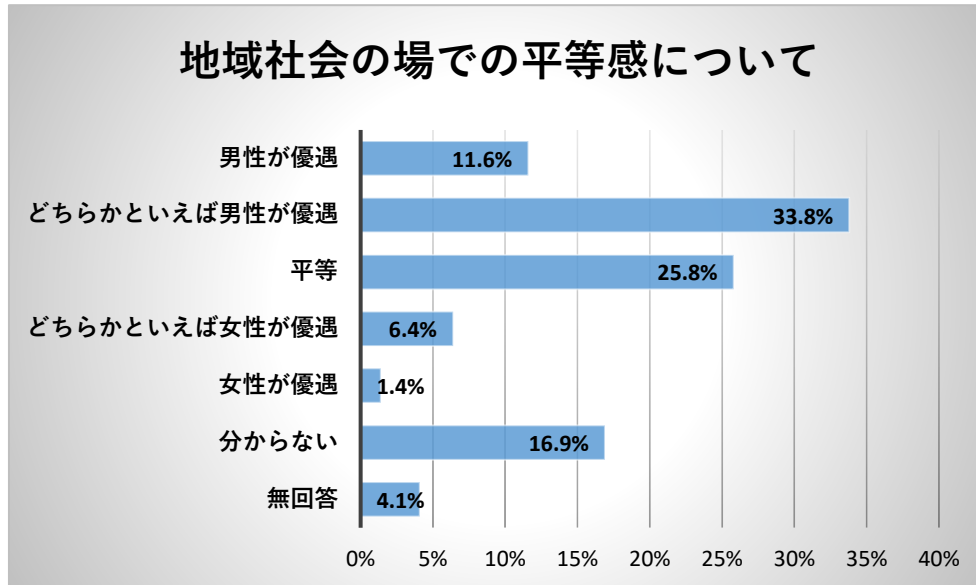
⑥ 政治の場での男女の平等感について

		無回答	分からない	女性が優遇	どちらかといえば女性が優遇	平等	どちらかといえば男性が優遇	男性が優遇	合計
⑥	政治の場で	4.7%	10.5%	0.2%	0.4%	11.0%	46.5%	26.7%	100.0%



㊦ 地域社会の場での男女の平等感について

		無回答	分からない	女性が優遇	どちらかといえば女性が優遇	平等	どちらかといえば男性が優遇	男性が優遇	合計
㊦	地域社会の場で	4.1%	16.9%	1.4%	6.4%	25.8%	33.8%	11.6%	100.0%



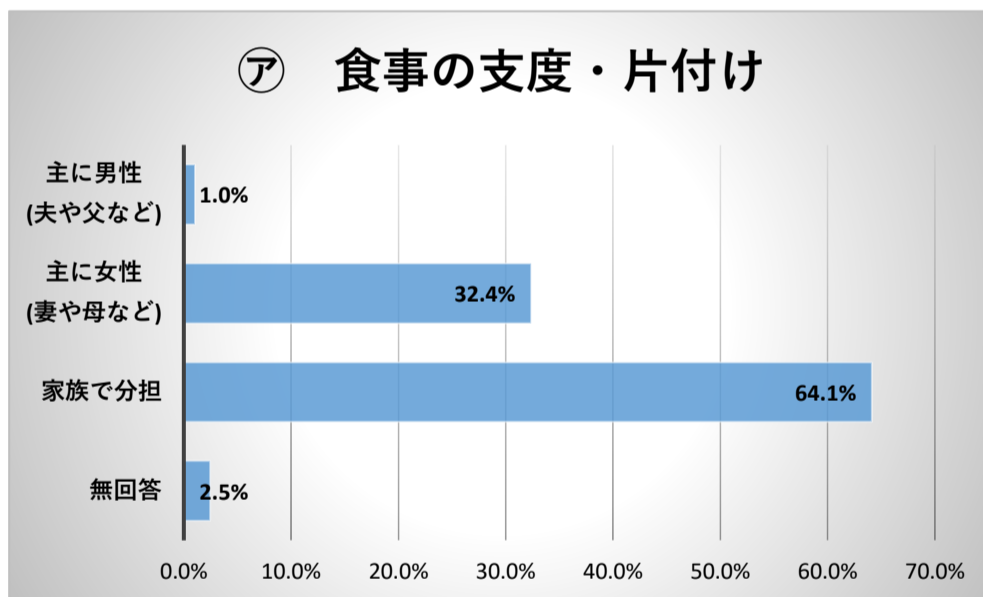
家庭について

【問7】 家庭での仕事について、主に誰がやるべきか

	無回答	家族で分担	主に女性 (妻や母など)	主に男性 (夫や父など)	合計
食事の支度・片付け	12	311	157	5	485
家の中の掃除・洗濯	19	303	159	4	485
食料品・日用品の買物	18	279	174	14	485
庭の手入れや掃除、家の修理	15	210	20	240	485
育児や子どもの世話	30	310	143	2	485
子どもの学校行事への参加	33	352	89	11	485
子どもの送迎	34	370	65	16	485
親などの世話・介護	26	372	79	8	485
地域や親せき等の対外的な対応	18	297	34	136	485
合計 (割合)	205 (4.7%)	2804 (64.2%)	920 (21.1%)	436 (10.0%)	4365 (100.0%)

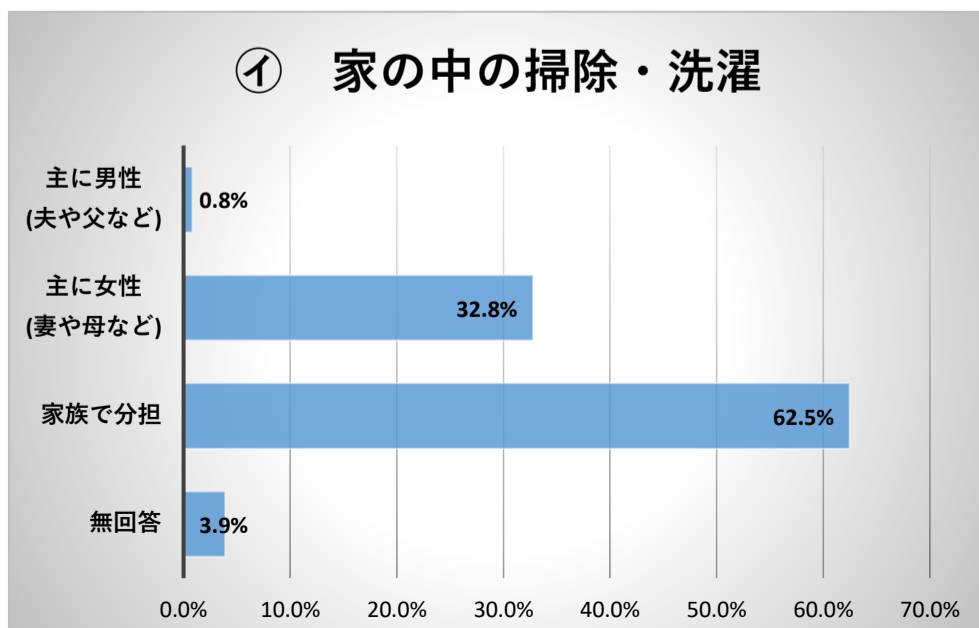
ア 食事の支度・片付け

	無回答	家族で分担	主に女性 (妻や母など)	主に男性 (夫や父など)	合計
ア 食事の支度・片付け	2.5%	64.1%	32.4%	1.0%	100.0%



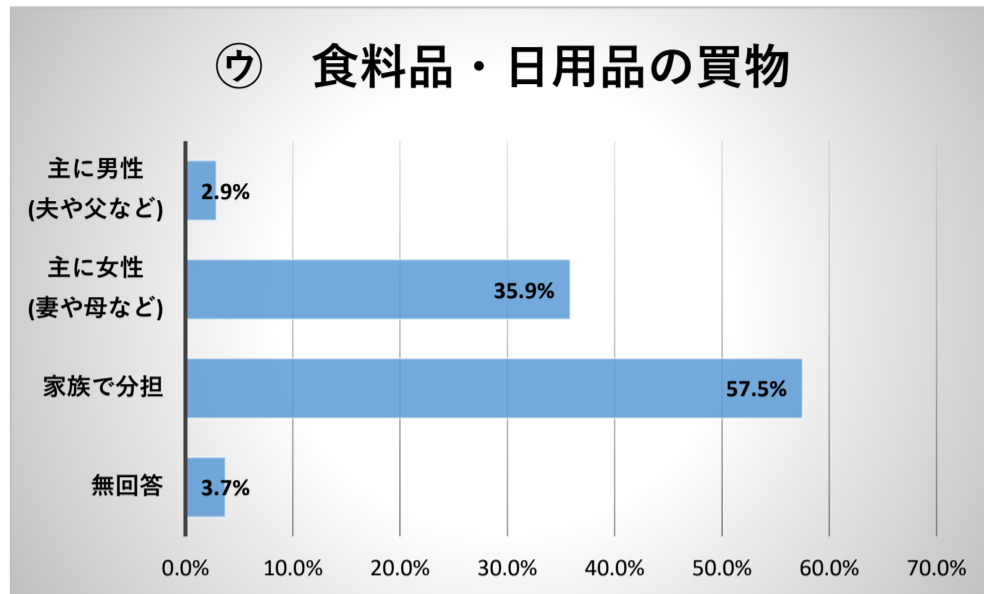
イ 家の中の掃除・洗濯

	無回答	家族で分担	主に女性 (妻や母など)	主に男性 (夫や父など)	合計
イ 家の中の掃除・洗濯	3.9%	62.5%	32.8%	0.8%	100.0%



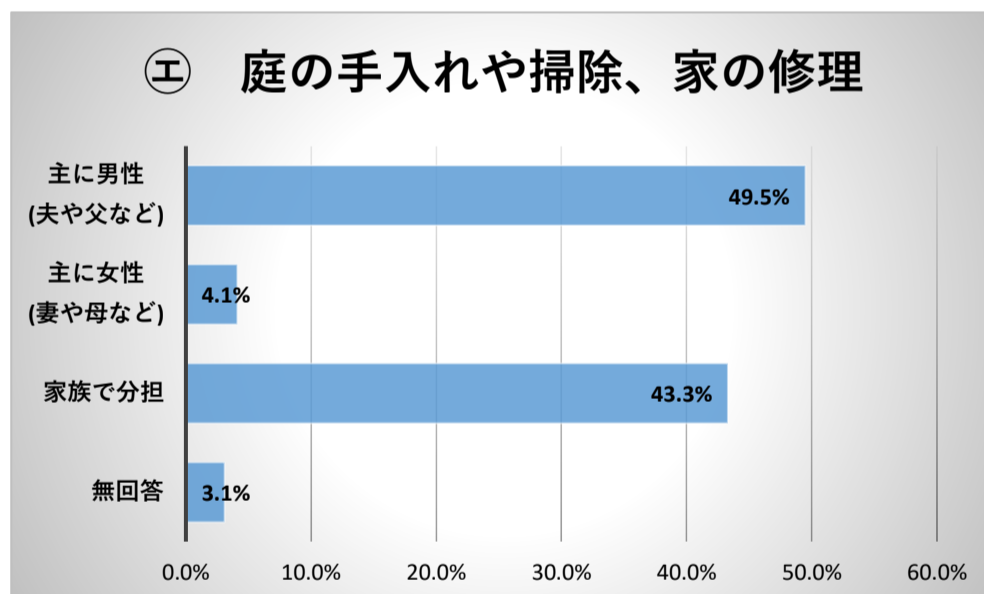
㊦ 食料品・日用品の買物

	無回答	家族で分担	主に女性 (妻や母など)	主に男性 (夫や父など)	合計
㊦ 食料品・日用品の買物	3.7%	57.5%	35.9%	2.9%	100.0%



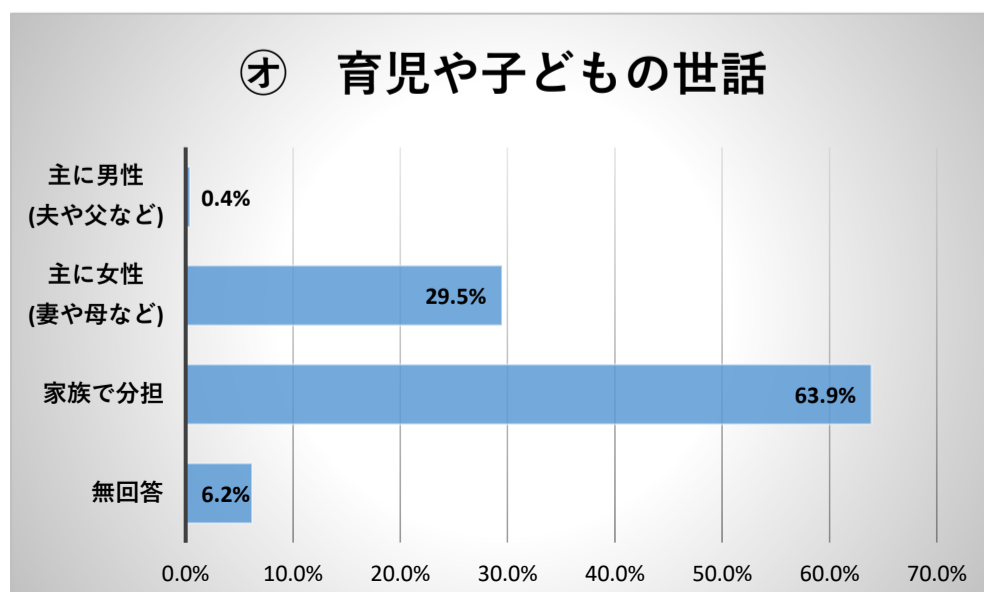
㊧ 庭の手入れや掃除、家の修理

	無回答	家族で分担	主に女性 (妻や母など)	主に男性 (夫や父など)	合計
㊧ 庭の手入れや掃除、家の修理	3.1%	43.3%	4.1%	49.5%	100.0%



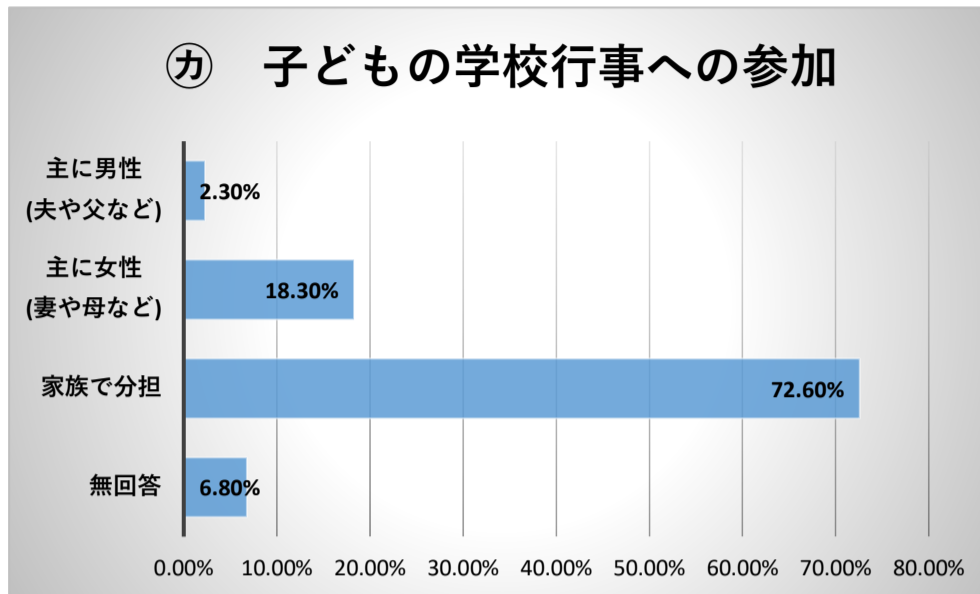
㊨ 育児や子どもの世話

	無回答	家族で分担	主に女性 (妻や母など)	主に男性 (夫や父など)	合計
㊨ 育児や子どもの世話	6.2%	63.9%	29.5%	0.4%	100.0%



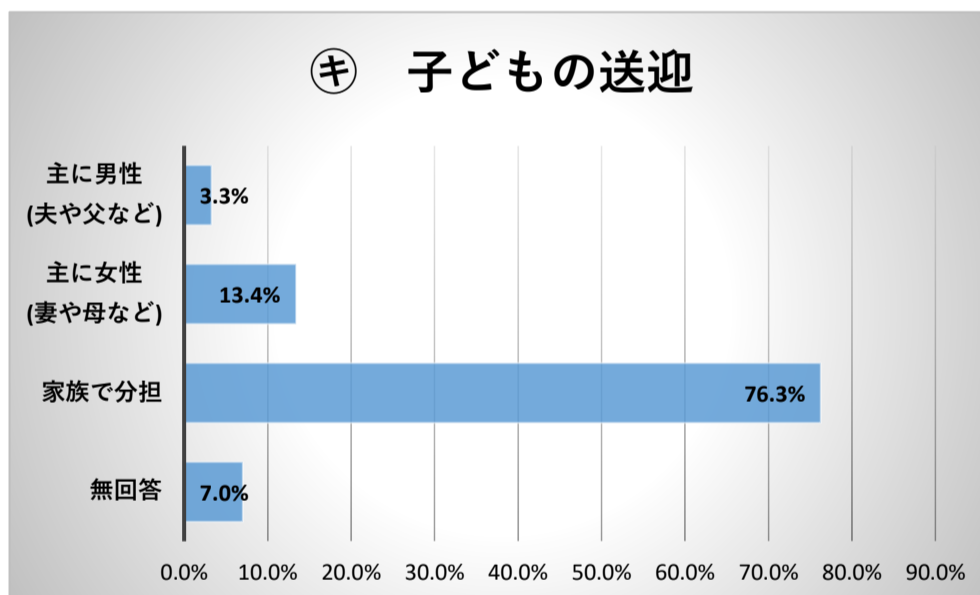
㊦ 子どもの学校行事への参加

	無回答	家族で分担	主に女性 (妻や母など)	主に男性 (夫や父など)	合計
㊦ 子どもの学校行事への参加	6.80%	72.60%	18.30%	2.30%	100.0%



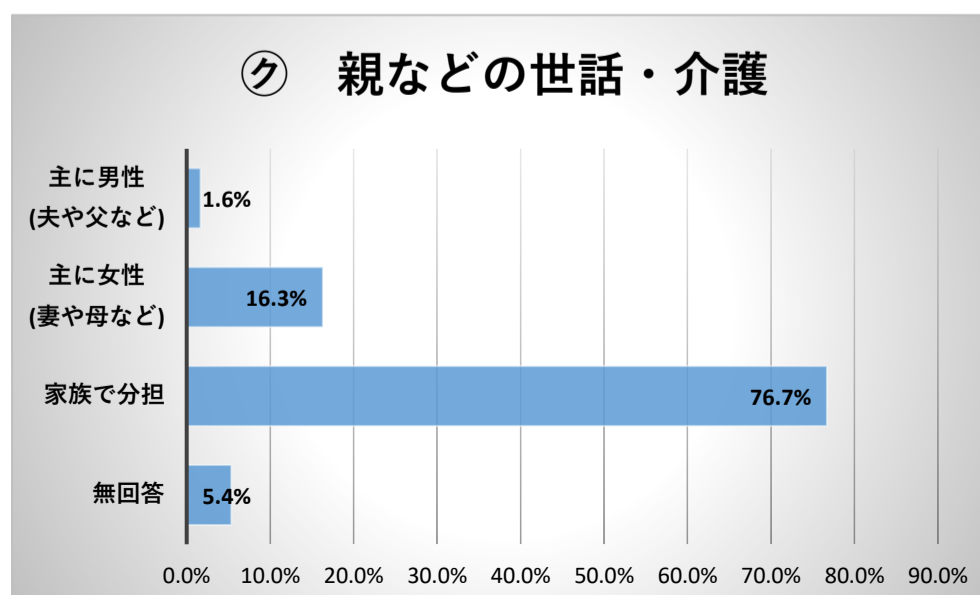
㊧ 子どもの送迎

	無回答	家族で分担	主に女性 (妻や母など)	主に男性 (夫や父など)	合計
㊧ 子どもの送迎	7.0%	76.3%	13.4%	3.3%	100.0%



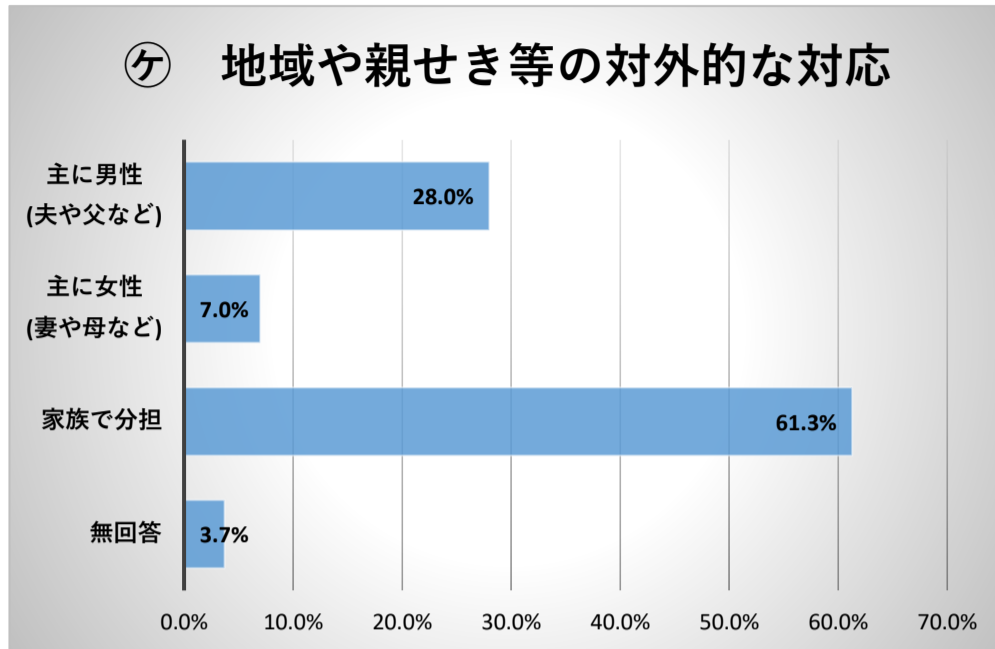
㊨ 親などの世話・介護

	無回答	家族で分担	主に女性 (妻や母など)	主に男性 (夫や父など)	合計
㊨ 親などの世話・介護	5.4%	76.7%	16.3%	1.6%	100.0%



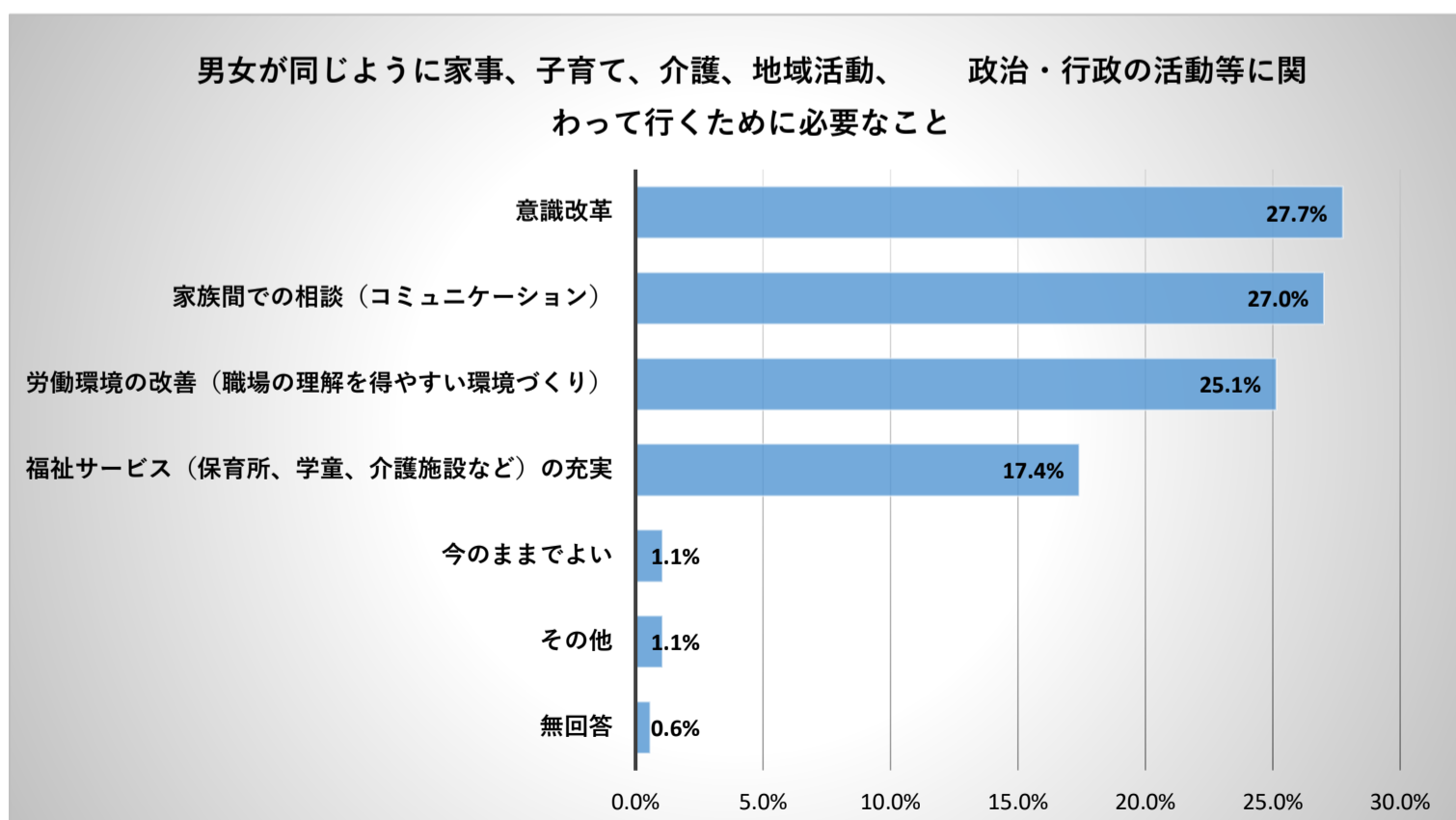
㊦ 地域や親せき等の対外的な対応

	無回答	家族で分担	主に女性 (妻や母など)	主に男性 (夫や父など)	合計
㊦ 地域や親せき等の対外的な対応	3.7%	61.3%	7.0%	28.0%	100.0%



【問8】 固定観念や先入観にとらわれることなく、男女が同じように家事、子育て、介護、地域活動、政治・行政の活動等に関わって行くためには、どのようなことが必要だと思いますか。

	割合	人数
無回答	0.6%	7
その他	1.1%	13
今のままでよい	1.1%	13
福祉サービス（保育所、学童、介護施設など）の充実	17.4%	214
労働環境の改善（職場の理解を得やすい環境づくり）	25.1%	309
家族間での相談（コミュニケーション）	27.0%	332
意識改革	27.7%	341
合計	100.0%	1229

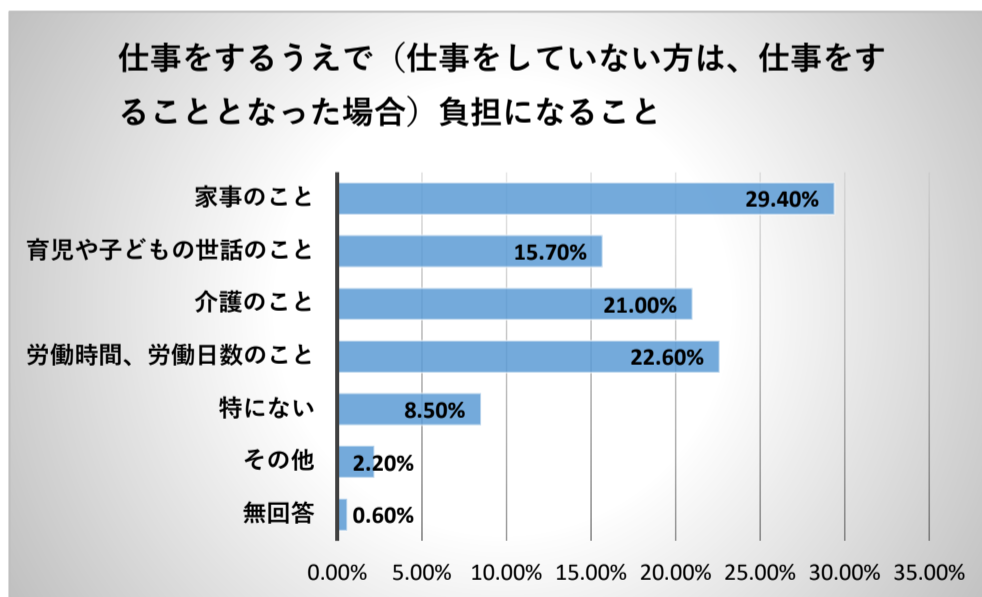


「その他」の回答内容

- ・分からない
- ・明確なルール（法律）を整備する
- ・教育
- ・職業の形態や環境の中で増段して決まってくるもの。固定して決める様なものではない
- ・男性の意識改革
- ・今更考えるのは難しいところがあるのではと思います。
- ・本人の意思
- ・まずは自分のことは自分で行う、その上で分担できる分は話し合う。
- ・介護についての意識改革は必須だ！介護についての説明会にも同居家族だけでなく子供全員での参加を必須に
- ・女性の地位向上、まだまだ男性上位が抜けていない
- ・公共交通の充実、都心など都市部へのアクセス充実
- ・パートナー同士の話し合いと了承
- ・幼少期からの教育も大切だと感じています。

【問9】 仕事をするうえで（仕事をしていない方は、仕事をする事となった場合）、負担になることは何ですか。

	割合	人数
無回答	0.60%	6
その他	2.20%	20
特にない	8.50%	79
労働時間、労働日数のこと	22.60%	209
介護のこと	21.00%	195
育児や子どもの世話のこと	15.70%	145
家事のこと	29.40%	272
合計	100.0%	926



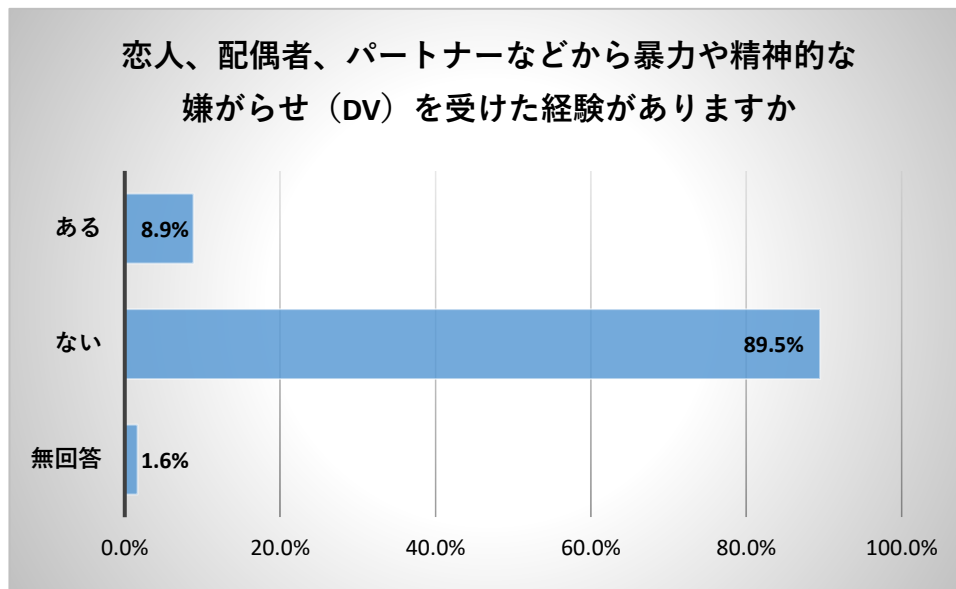
「その他」の回答内容

- ・自身の健康状況（体調）、身心の能力、体力の低下の心配、通院
- ・社会保険料、税金、住民税
- ・周囲の理解、人間関係
- ・状況に応じて対応する
- ・労働内容、仕事の内容、業務量
- ・地域の行事、部落の作業、宮掃除、草刈り
- ・犬の世話

DV(ドメスティックバイオレンス)について

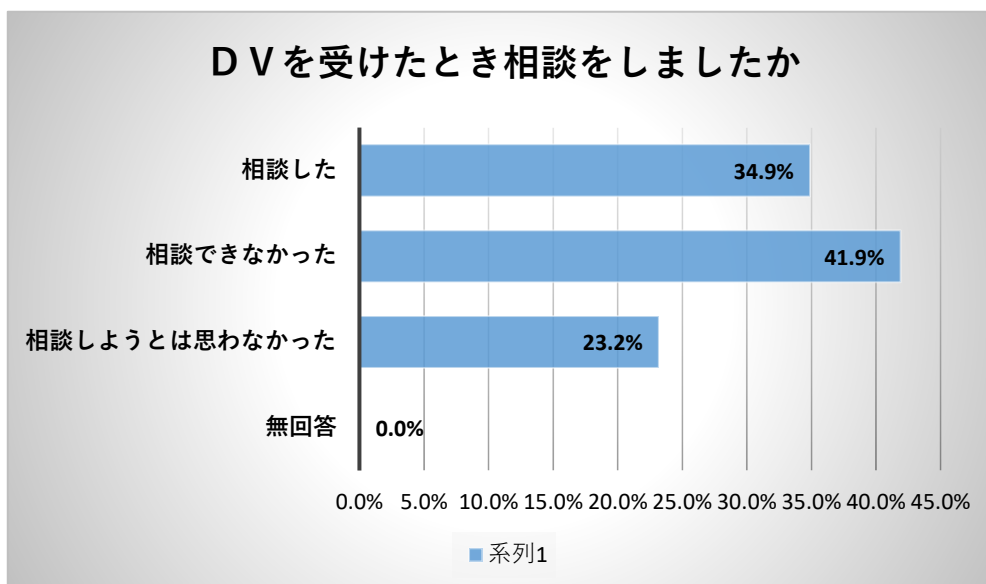
【問10】 恋人、配偶者、パートナーなどから暴力や精神的な嫌がらせ（DV）を受けた経験がありますか。

	割合	人数
無回答	1.6%	8人
ない	89.5%	434人
ある	8.9%	43人
合計	100.0%	485人



【問11】 DV（ドメスティックバイオレンス）を受けたとき、あなたは誰かに、相談をしましたか。

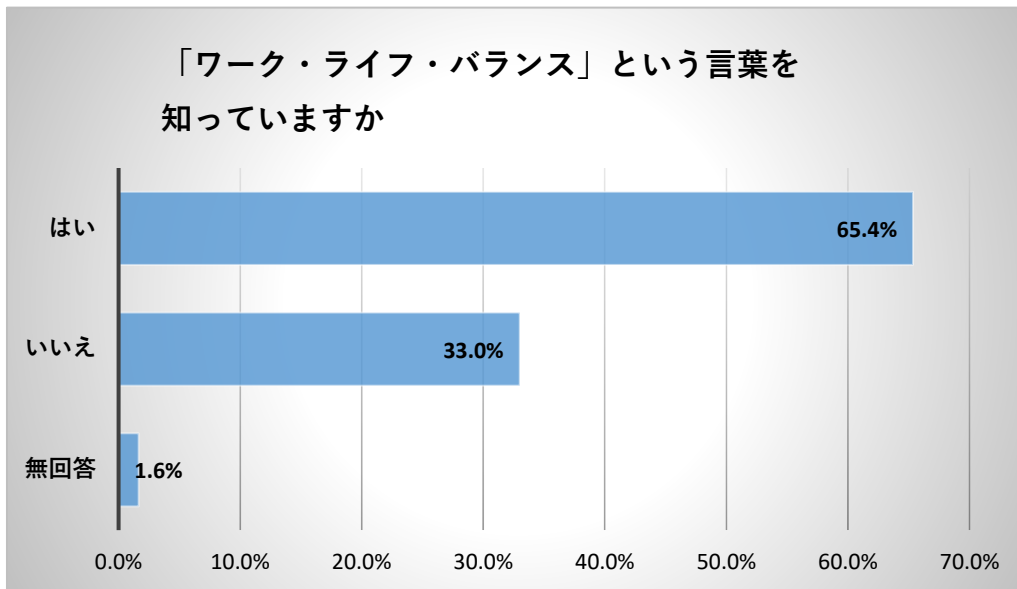
	割合	人数
無回答	0.0%	0人
相談しようとは思わなかった	23.2%	10人
相談できなかった	41.9%	18人
相談した	34.9%	15人
合計	100.0%	43人



ワーク・ライフ・バランスについて

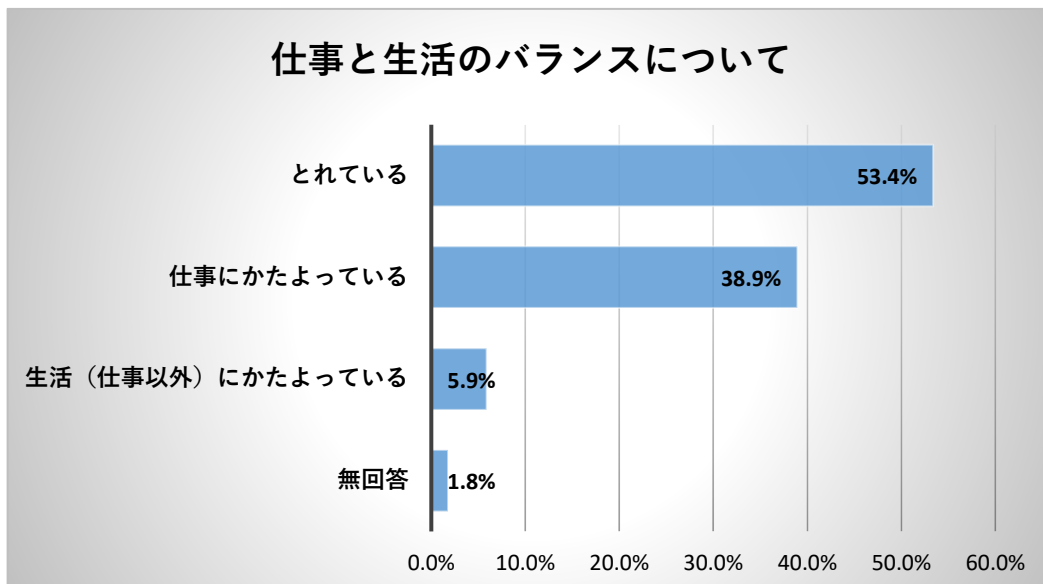
【問1 2】 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。

	割合	人数
無回答	1.6%	8
いいえ	33.0%	160
はい	65.4%	317
合計	100.0%	485



【問1 3】 あなたは、現在、仕事と仕事以外の生活のバランスがとれていますか。

	割合	人数
無回答	1.8%	6
生活（仕事以外）にかたよっている	5.9%	20
仕事にかたよっている	38.9%	132
とれている	53.4%	181
合計	100.0%	339

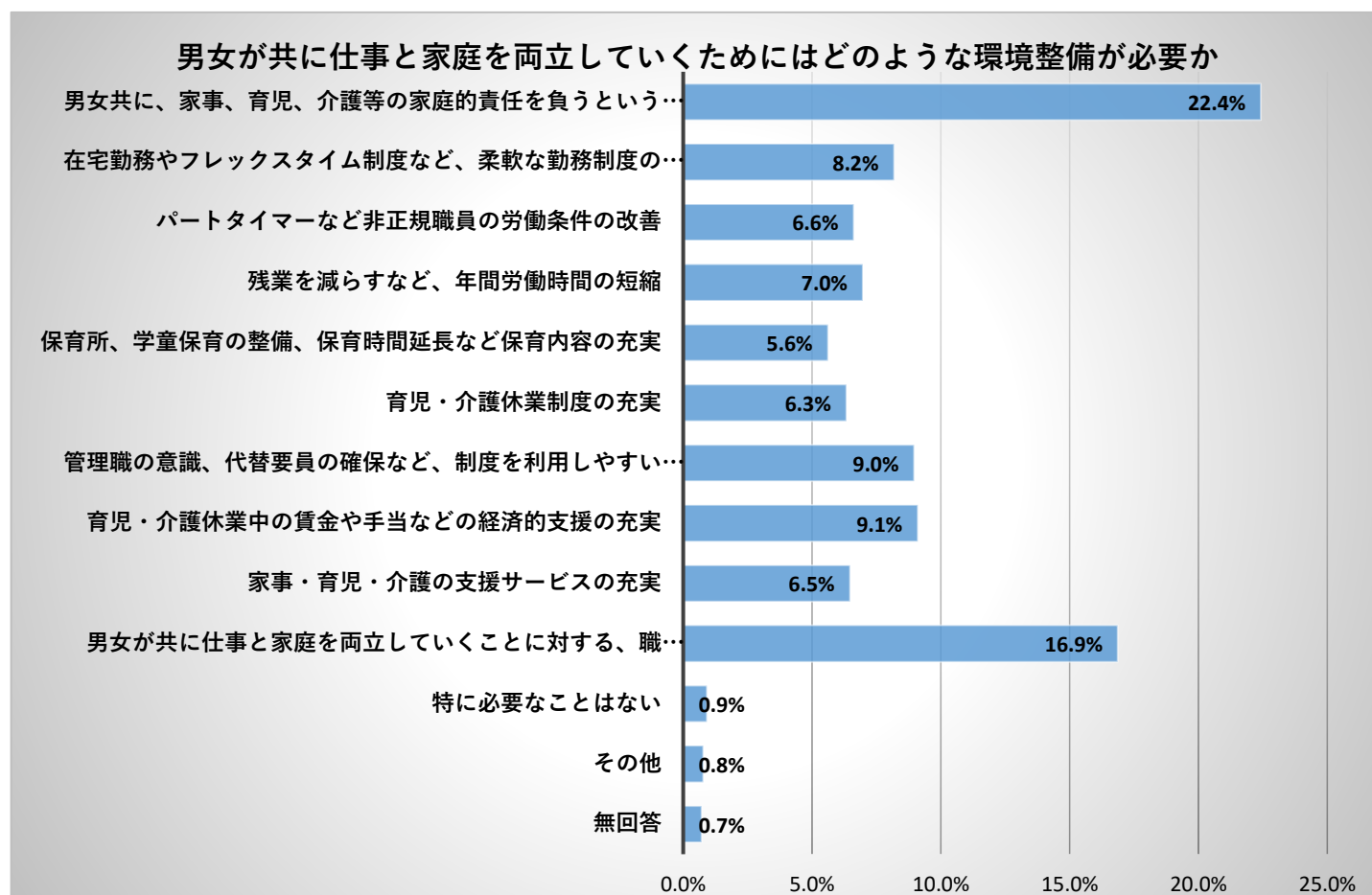


【問14】 一般的に、男女が共に仕事と家庭を両立していくためには、どのような環境整備が必要だとおもいますか。

	割合	人数
無回答	0.7%	10
その他	0.8%	11
特に必要なことはない	0.9%	13
男女が共に仕事と家庭を両立していくことに対する、職場・家庭など周囲の理解	16.9%	237
家事・育児・介護の支援サービスの充実	6.5%	91
育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援の充実	9.1%	128
管理職の意識、代替要員の確保など、制度を利用しやすい職場環境の整備	9.0%	126
育児・介護休業制度の充実	6.3%	89
保育所、学童保育の整備、保育時間延長など保育内容の充実	5.6%	79
残業を減らすなど、年間労働時間の短縮	7.0%	98
パートタイマーなど非正規職員の労働条件の改善	6.6%	93
在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度の充実	8.2%	115
男女共に、家事、育児、介護等の家庭的責任を負うという意識改革	22.4%	315
合計	100.0%	1405

「その他」の回答内容

自身の家族（親等）、友人を頼れる環境を作る。
 職場の人数確保
 消防団組織の意識改革
 正直両立は（子育て世帯）難しいと思う
 資本家優遇の政策から労働者への適切な利益還元
 家族で話し合い得意な方がやる。仕事や家事の割合全振りでも納得していればOK



【問15】 あなたの職場では、有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか

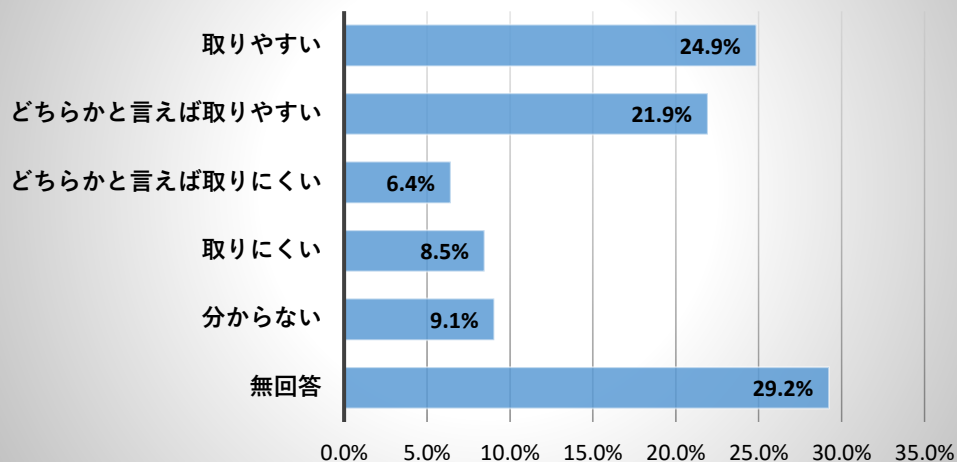
男性社員について（人数）

	無回答	分からない	取りにくい	どちらかと言えば取りにくい	どちらかと言えば取りやすい	取りやすい	合計
㊦介護休暇	114	80	38	36	50	23	341
①育児休暇	114	72	41	28	57	28	340
㊦有給休暇	100	31	29	22	75	85	342
合計	328	183	108	86	182	136	1023

男性社員について（有給休暇）

	無回答	分からない	取りにくい	どちらかと言えば取りにくい	どちらかと言えば取りやすい	取りやすい	合計
有給休暇	29.2%	9.1%	8.5%	6.4%	21.9%	24.9%	100.0%

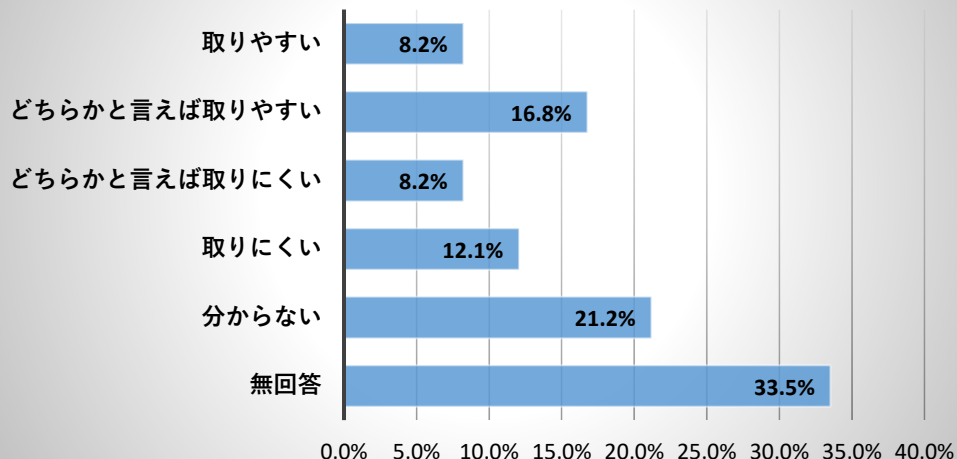
男性社員の有給休暇の取りやすさについて



男性社員について（育児休暇）

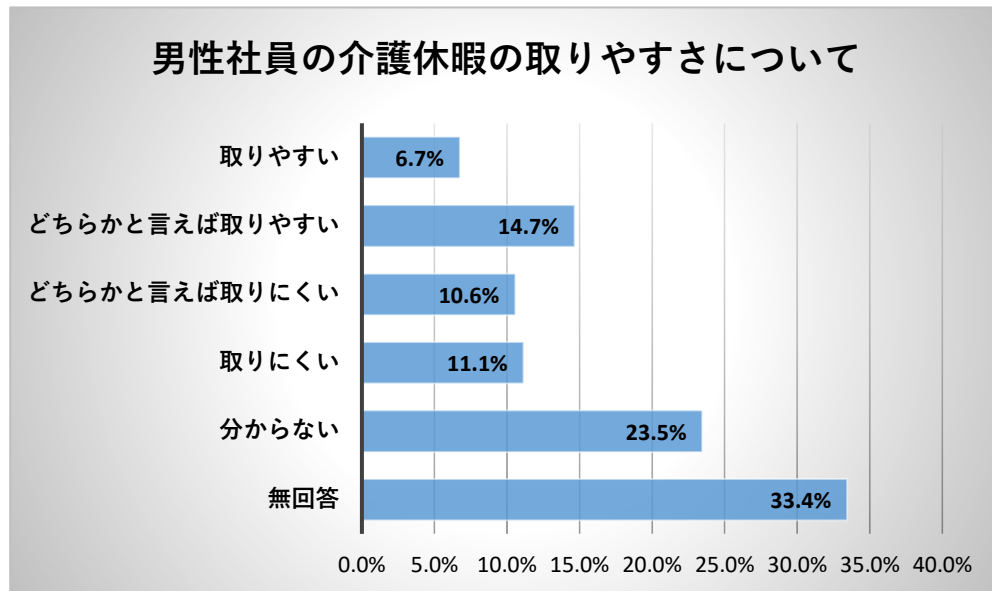
	無回答	分からない	取りにくい	どちらかと言えば取りにくい	どちらかと言えば取りやすい	取りやすい	合計
育児休暇	33.5%	21.2%	12.1%	8.2%	16.8%	8.2%	100.0%

男性社員の育児休暇の取りやすさについて



男性社員について（介護休暇）

	無回答	分からない	取りにくい	どちらかと言え ば取りにくい	どちらかと言え ば取りやすい	取りやすい	合計
介護休暇	33.4%	23.5%	11.1%	10.6%	14.7%	6.7%	100.0%

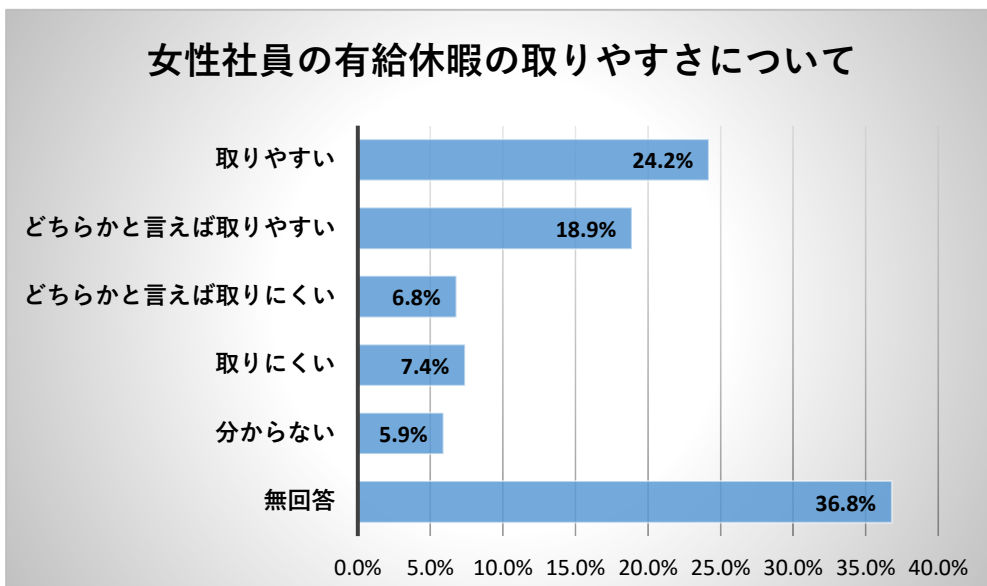


女性社員について（人数）

	無回答	分からない	取りにくい	どちらかと言え ば取りにくい	どちらかと言え ば取りやすい	取りやすい	合計
㊦介護休暇	131	57	23	30	51	46	338
㊧育児休暇	137	36	18	17	59	72	339
㊨有給休暇	125	20	25	23	64	82	339
合計	393	113	66	70	174	200	1016

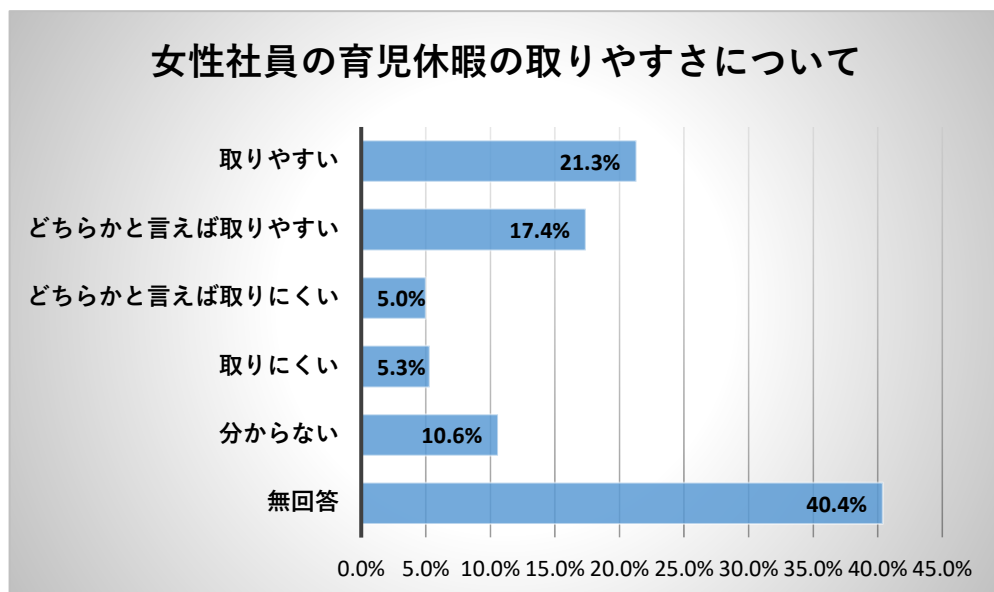
女性社員について（有給休暇）

	無回答	分からない	取りにくい	どちらかと言え ば取りにくい	どちらかと言え ば取りやすい	取りやすい	合計
有給休暇	36.8%	5.9%	7.4%	6.8%	18.9%	24.2%	100.0%



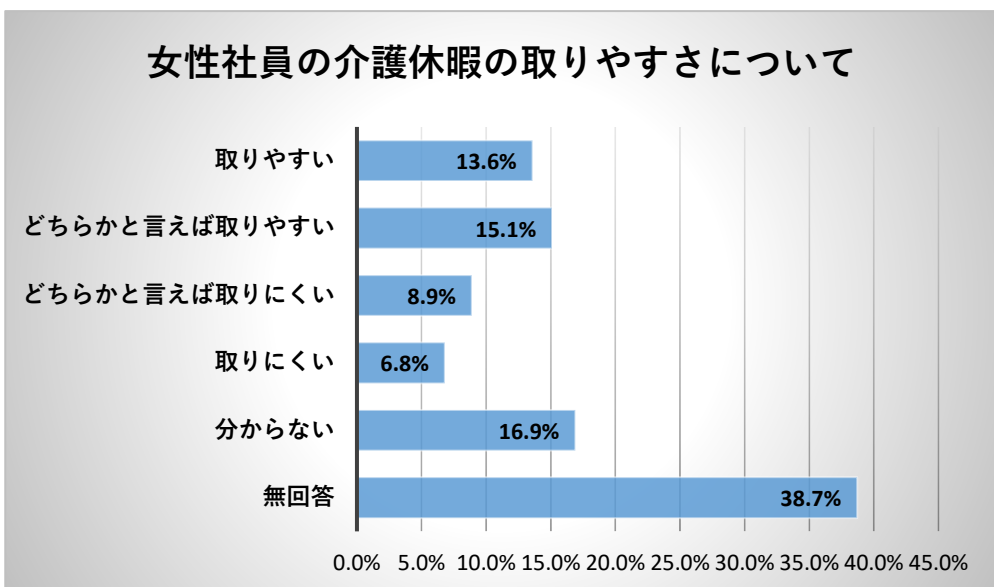
女性社員について（育児休暇）

	無回答	分からない	取りにくい	どちらかと言え ば取りにくい	どちらかと言え ば取りやすい	取りやすい	合計
育児休暇	40.4%	10.6%	5.3%	5.0%	17.4%	21.3%	100.0%



女性社員について（介護休暇）

	無回答	分からない	取りにくい	どちらかと言え ば取りにくい	どちらかと言え ば取りやすい	取りやすい	合計
介護休暇	38.7%	16.9%	6.8%	8.9%	15.1%	13.6%	100.0%



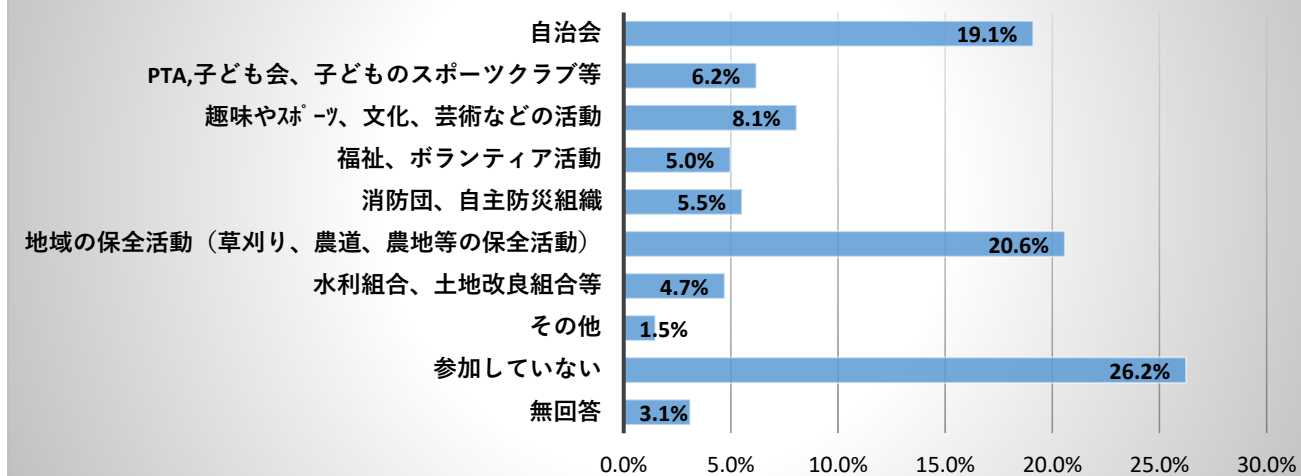
【問16】 現在、あなたが参加している地域活動について

	割合	人数
無回答	3.1%	23
参加していない	26.2%	195
その他	1.5%	11
水利組合、土地改良組合等	4.7%	35
地域の保全活動（草刈り、農道、農地等の保全活動）	20.6%	153
消防団、自主防災組織	5.5%	41
福祉、ボランティア活動	5.0%	37
趣味やスポーツ、文化、芸術などの活動	8.1%	60
PTA,子ども会、子どものスポーツクラブ等	6.2%	46
自治会	19.1%	142
合計	100.0%	743

「その他」の回答内容

- ・ 町の役職
- ・ 地域イベントのボランティア
- ・ 観光協会
- ・ 寺の掃除（草刈り）

参加している地域活動について



あらゆる分野における女性の活躍の推進について

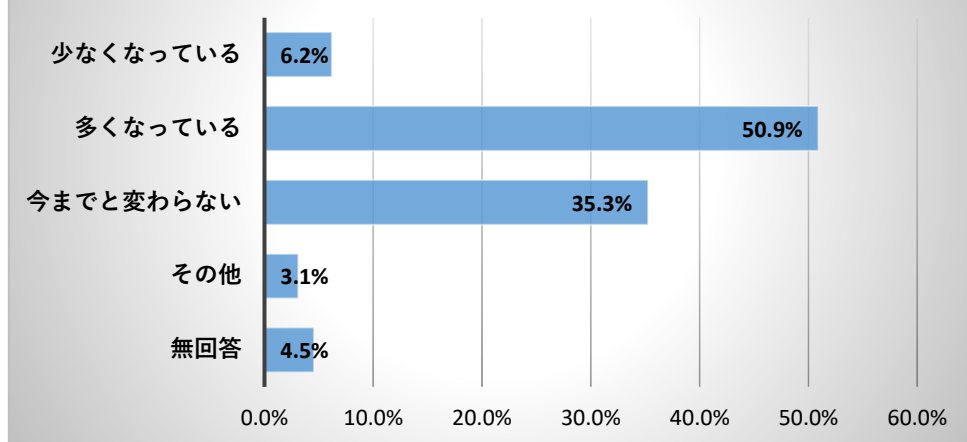
【問17】 政治や行政、職場、地域などのあらゆる分野において、政策や企画、方針の決定の場における女性の進出・参加状況についてどう思いますか。

	割合	人数
無回答	4.5%	22
その他	3.1%	15
今までと変わらない	35.3%	171
多くなっている	50.9%	247
少なくなっている	6.2%	30
合計	100.0%	485

「その他」の回答内容

- ・まだまだ女性の進出は少ないと思います。
- ・女性が男性向けの政策ができないことはないし逆も
- ・人口減少、若者減少に無理困難・現状で推進
- ・分からない
- ・一部の職種で偏りがある。
- ・多くなっていると思うが結果的に変わらない。
- ・地域では多くなっている。
- ・女性副町長など？ 大多喜町は女性町議員を多くした方がよい。

政策や企画、方針の決定の場における
女性の進出・参加状況



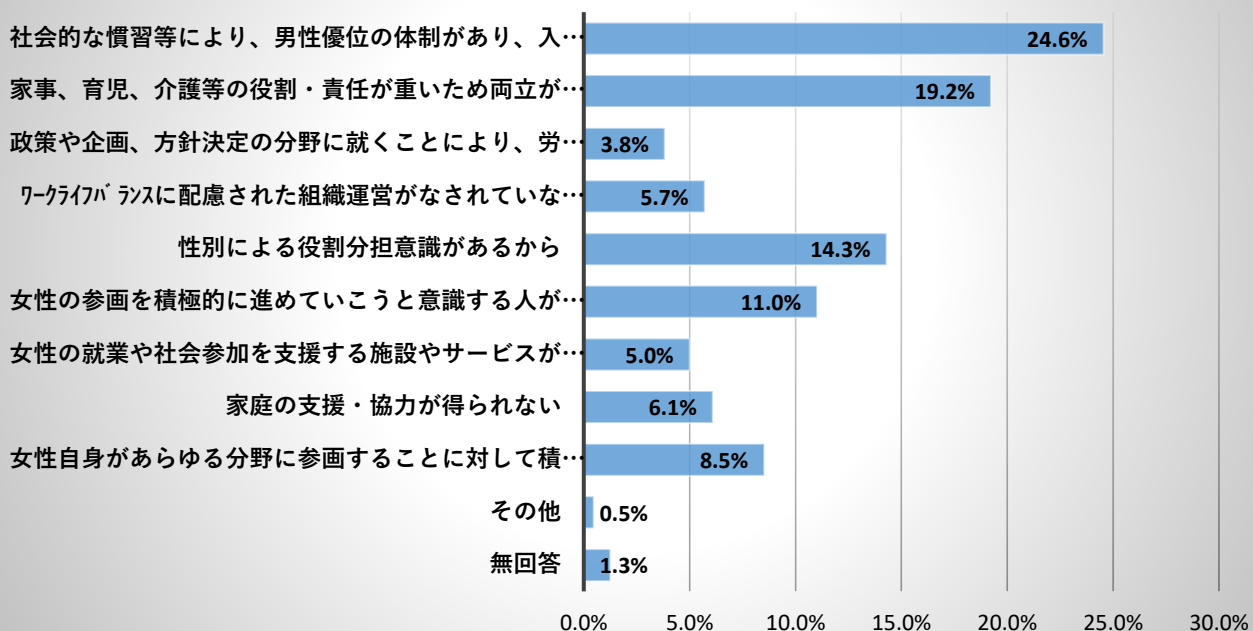
【問18】 政治や行政、職場、地域などのあらゆる分野において、政策や企画、方針の決定の場に女性の割合が少ない理由は何だと思いませんか。

	割合	人数
無回答	1.3%	16
その他	0.5%	6
女性自身があらゆる分野に参画することに対して積極的でないから	8.5%	109
家庭の支援・協力が得られない	6.1%	78
女性の就業や社会参加を支援する施設やサービスが十分でないから	5.0%	64
女性の参画を積極的に進めていこうと意識する人が少ないから	11.0%	141
性別による役割分担意識があるから	14.3%	183
ワークライフバランスに配慮された組織運営がなされていないから	5.7%	73
政策や企画、方針決定の分野に就くことにより、労働時間が増えるから	3.8%	49
家事、育児、介護等の役割・責任が重いため両立が難しいから	19.2%	246
社会的な慣習等により、男性優位の体制があり、入りにくいから	24.6%	314
合計	100.0%	1279

「その他」の回答内容

- ・動物的な男女差があると思う。男女が同じことをしないといけないと思うことがナンセンスだと思う。
- ・やる気がないから
- ・専業主婦になりたい女性が多い
- ・選考する側の意識が低いのでは
- ・分からない

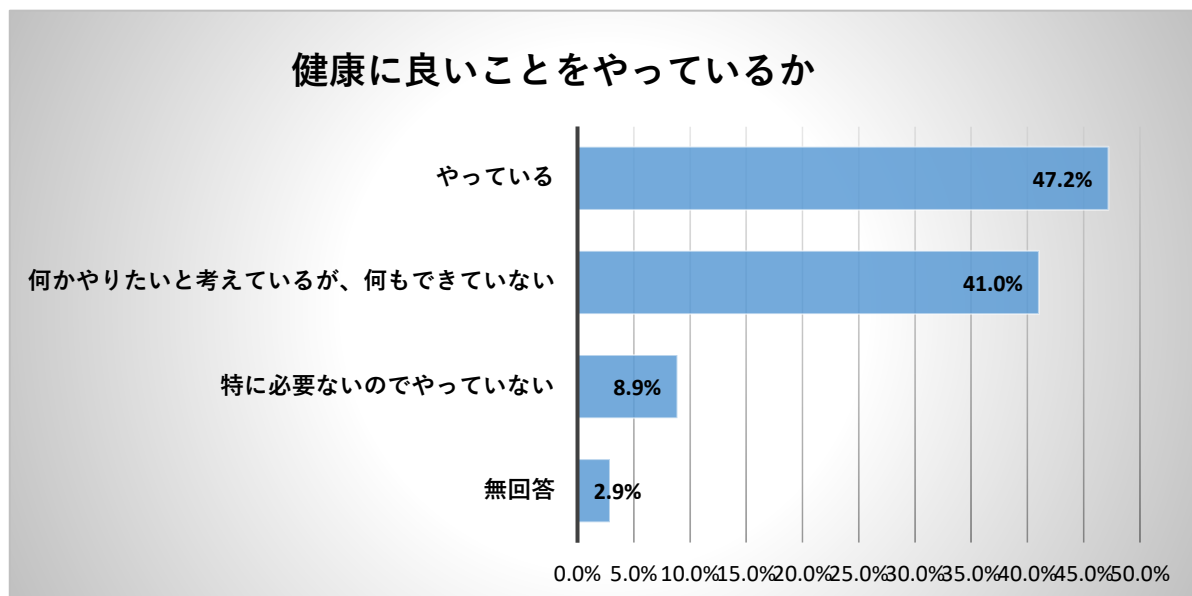
政策や企画、方針の決定の場に女性の割合が少ない理由



健康づくりについて

【問19】 あなたは健康に良いと思うことをやっていますか。

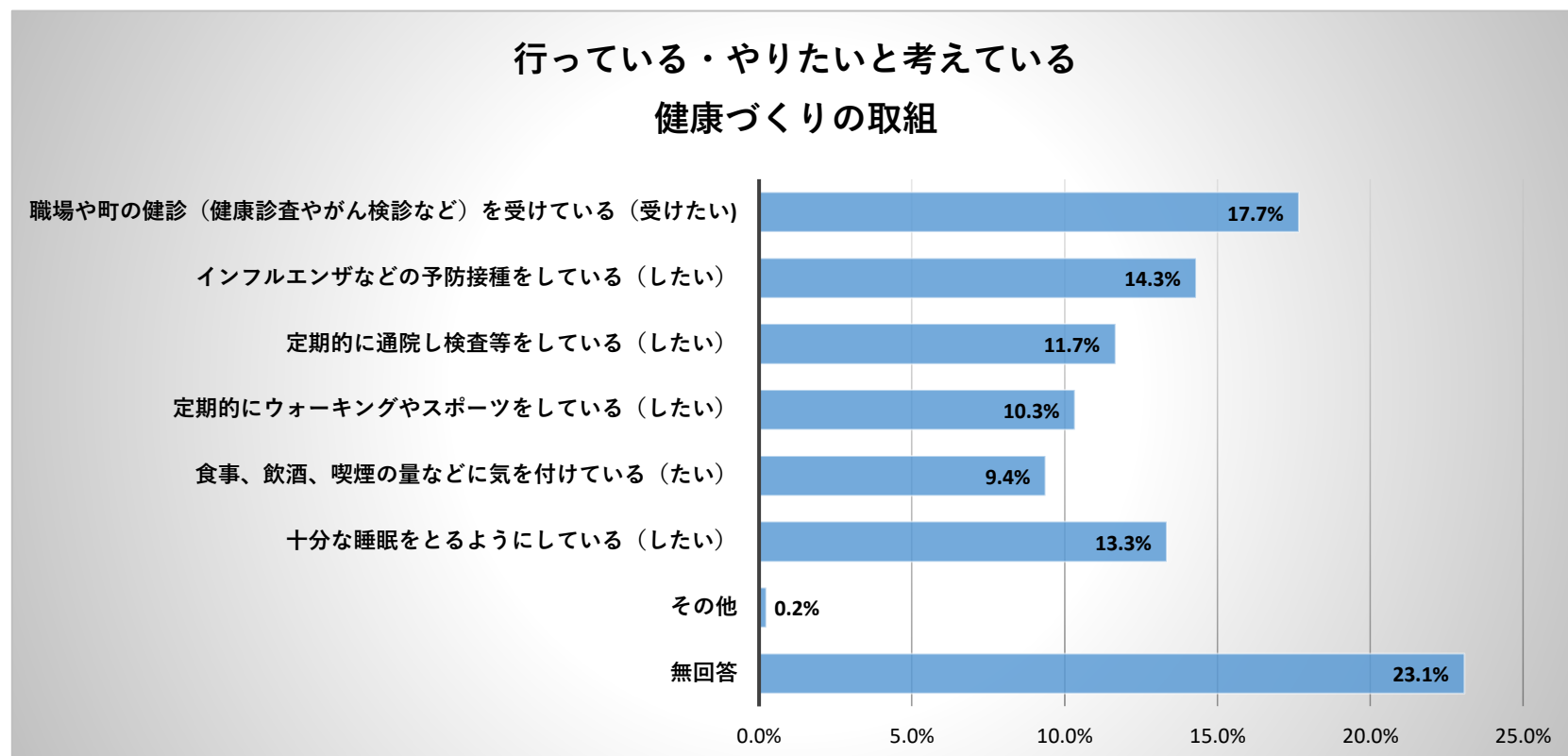
	割合	人数
無回答	2.9%	14
特に必要ないのでやっていない	8.9%	43
何かやりたいと考えているが、何もできていない	41.0%	199
やっている	47.2%	229
合計	100.0%	485



【問20】 あなたの行っている（やりたいと考えている）健康づくりの取組について

	割合	人数
無回答	23.1%	192
その他	0.2%	2
十分な睡眠をとるようにしている（したい）	13.3%	111
食事、飲酒、喫煙の量などに気を付けている（たい）	9.4%	78
定期的にウォーキングやスポーツをしている（したい）	10.3%	86
定期的に通院し検査等をしている（したい）	11.7%	97
インフルエンザなどの予防接種をしている（したい）	14.3%	119
職場や町の健診（健康診査やがん検診など）を受けている（受けたい）	17.7%	147
合計	100.0%	832

「その他」の回答内容
・ サプリ



防災について

【問 2 1】 災害時の避難所において、安心して避難所生活を送るために必要なことは何だと思えますか。

	割合	人数
無回答	0.8%	11
その他	0.6%	8
男女別の更衣室	9.2%	129
授乳室の設置、育児用品の常備	5.2%	72
障がい者専用スペースの設置、介護用品の常備	7.2%	100
女性専用スペースの設置、女性用品の常備	9.0%	125
プライバシーを確保するための間仕切り	22.7%	317
安全で行きやすい場所への男女別のトイレの設置	18.2%	254
男女両方の相談員による対応	7.5%	105
避難所運営に男女の双方が関わっていること	13.1%	183
地域の防災の会議や防災訓練において、男女共同参画の視点にたった取組がされていること	6.5%	91
合計	100.0%	1395

「その他」の回答内容

- ・全部必要
- ・避難所まで遠く車でないと行けない、避難生活を送る事よりも行く事ができない。
- ・お風呂
- ・ペットと共に避難できないので、避難所へ行く事を迷ってしまう。
- ・ペットを連れて行ける環境
- ・衛生面
- ・分からない

安心して避難所生活を送るために必要なこと

